

校訓	真 善 美	令和3年度 学校通信  <b>「荒中だより」</b> 第2号	発行日	令和3年4月12日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き 未来を生きる生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 森本 一登

## 「第42回 入学式」

4月9日(金)、春の訪れを感じる中「第42回 入学式」が挙行されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新入生、保護者、教職員のみでの参加となりましたが、昨年度と違い「新入生誓いのことば」や「在校生歓迎のことば」が実施できました。194名の新入生が入学し、全校生徒580名で今年度スタートします。本来なら、在校生や来賓の方々とともに入学を祝いたいところですが、参加ができませんでしたので、校長式辞を紙上にてご披露させていただきます。



### 校長式辞

校舎から見える長尾連山の若葉の緑も爽やかさを一段と増し、こころをなごませてくれる今日の良き日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため簡素化されましたが、PTA会長 北村浩一朗様のご臨席を賜り、入学式を挙行できますこと、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

194名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を、本校職員、在校生一同心待ちにしておりました。今日の皆さんの意気込みあふれる「はつらつ」とした姿を見て、大変頼もしく感じました。今の新鮮な気持ちを大切に、いろいろなことに積極的にチャレンジしてください。

保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。義務教育最後の3年間、教職員一同一丸となり、お子様の教育に力を注いでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、新入生のみなさん、本校は生徒数が580名の活気と可能性にあふれる学校です。私は皆さん一人ひとりが持っている可能性やよさをあらゆる場面で引き出したいと考えております。今日から荒牧中学校の一年生として、在校生とともに学校を盛り上げてほしいと思います。今日は荒牧中学校の紹介もかねて、校訓についてお話しします。

皆さんの正面に向かって右側の壁に、『真善美』と大きく掲げられているものが、本校の教育の基となる校訓です。

一つ目の「真」とは、本当のことを追い求めていく「向学心」のことです。「向学心」とは、勉強に励もうとする心や志のことです。皆さんは授業中に、「そこから先はどうなるのだろう」とか「もっと深く知りたい」と感じたことがあると思います。授業とは、そのような皆さんが感じる『問い』や『なぜ』を、先生とやりとりをしながら解き明かしていくものです。みなさんにはタブレットが配布されます。授業中に感じた疑問やもっと知りたいことなどをどんどん調べ、より深い学びを身につけてください。

二つ目の「善」は、「人として善くあれ」ということを表しています。皆さんには、「ありがとう」、「ごめんなさい」、「ご苦労様」などの言葉を素直に言える人になってほしいと思います。自分の人間性を高めるには、人から適切なアドバイスをもらえることが大事です。人からのアドバイスは、時には耳の痛いこともあります。が、「いったんは受け入れて聞いてみる」そのような姿勢があなた方を成長させます。また、自分を大切にすると他者への思いやりの心を持ってほしいと思います。相手を思いやることやもてなすことは、これから生きていく上でとても大切なことです。そのような感性を行事や部活動などの学校生活を通して磨いてください。

最後の「美」とは、「美の追究、美に感動」することです。明るく爽やかなあいさつや相手を思いやることばは、人間関係を良好にします。相手にかけることばが美しければ、相手から返ってくることも美しいものです。また、何か一つのことには打ち込む姿や姿勢は、人の心を打つ美しいものです。校歌の二番の歌詞には、今話した『真善美』が出てきます。校歌を歌うときには、この話を思い出してください。

今日は本校の校訓から、新入生の皆さんにどのような中学校生活を送ってほしいかについて話をしました。これからの中学校生活では、困難なことやつまづくこともたくさんあるとおもいます。そんな時には決してあきらめず、「何をすべきか」、「何が必要か」を自ら考え、悩み、一人で解決できなければ仲間と協力し、色々と試行錯誤して課題を解決していく経験をたくさん積んでほしいと思います。そういった経験によって、これからの予測不可能な時代にも力強く生きていく力が養われるのです。

最後になりましたが、本日ご臨席いただきましたPTA会長様、保護者の皆様、ご多用の中、ご臨席いただき、ありがとうございました。

教職員一同熱意と愛情を持って、お子様のご成長のために邁進してまいりますので、今後とも荒牧中学校を見守り、ご支援いただきますようお願い申しあげまして、式辞といたします。

令和3年4月9日

伊丹市立荒牧中学校長  
森本 一登